

平成30年2月1日発行
企画・編集 松崎 靖
発行 (株)足利屋洋品店
みどり市大間々町4-1380 (〒376-0101)
Tel 0277-73-1212
Fax 0277-70-1066

今月の題字
櫻井花香 さん

(新里町山上 6年生)

1月に足利屋で開催した窪塚書道教室展に出品してくれた花香(はるか)さん。習字も上手でしたが絵も最高ですね。2月にふさわしい題字をありがとう。



虹の架橋「検索」で、インターネットからでもご覧いただけます。

小耳にはさんだ
いい話
(文責・靖)《270》

鈍刀を磨く

伊東掃除に学ぶ会年次大会の記念講演で鎌倉円覚寺管長の横田南嶺老師の話を聴きました。

横田老師は昭和三十九年生れ。平成二十二年に四十代の若さで臨済宗円覚寺派管長に就任したお坊さんです。数年前に横田老師の講演を聴いて感動し、それ以来毎朝、延命十句観音経をお唱えするようになりました。

今回の講演の中で横田老師は仏教詩人の坂村真民さんの詩をたくさん紹介してくれました。

横田老師の朗読で聴く真民さん

を目指した年

でしたが鳩ヶ谷のアイデアと演技力に完敗でした。翌

年は、私たちが鳩ヶ谷市民ふるさと祭りの仮装大会に参加して優勝を飾ったこともいい思い出です。

富田さんが描くイラストの題材は、やっちゃん日記のダジャレ、下ネタ、失敗談をユーモアたっぷりに描いたものが多く、絵を見ただけでその時のことが楽しく思い出されます。全国で虹の架橋を読んでいるくださる方は、筆まめな方が多く、毎月いただくハガキや手紙やメールが虹の架橋を続ける原動力となり、宝物になっています。お陰様で今月が二七〇号です。



最初の年に頂いたハガキは二十年前。大間々祇園祭りの仮装大会に参加した鳩ヶ谷の富田さんのグループが優勝して三十万円を獲得しました。その年は私達「第四区」が四年連続優勝



今後とも虹の架橋と足利屋とアスクをよろしくお願ひ致します。感謝！

絵手紙で見る虹の架橋の歴史
二十八日まで富田栄子絵手紙展
平成九年四月、大間々町と鳩ヶ谷市(現川口市)が姉妹都市になったことがきっかけで富田栄子さんと知り合いました。以来、毎月虹の架橋の感想や近況がイラスト入りのハガキで届きます。二十年前からのハガキを読み返してみると富田さんの明るい人柄と温かい優しさが伝わってきます。



世界一小さな
足利屋
トイレ美術館

今月の作品《270》
山崎尊琉くん『上電電車』



上毛電鉄の運行車両に子どもの絵を飾る「上電うごくギャラリー」児童絵画展の小学校高学年の部で最高賞の群馬県知事賞を受賞した山崎尊琉(たける)君(大間々東小五年)の作品。受賞式で尊琉君は「上電が大間々の町を悠々と走る姿を描きました。電車内に展示されている作品を家族で見たいです」と話していました。絵を見てみると、電車が走り抜ける音や風まで感じられます。今月は足利屋で原画をご覧ください。この絵画展で大間々東小五年の岡玲那さんの作品も上電うごくギャラリー賞を受賞しました。

靖ちゃん日記

一月十二日(金)
四時半起床。満天の星・東の空に有明の月が白く輝いている。新聞を読み、手紙の返事を一通書く。お湯を沸かし、ポットに入れて六時前に大間々駅へ。改札口の温度計は氷点下六度。この冬一番の寒さだった。女子トイレの洗面台には今朝も花が飾られていた。松と南天とスイセンの花が正月の雰囲気。だれが飾ってくれているのか、心が和む。今朝の参加者は六人。雑巾もスポンジもあつという間に凍ってしまふ。床は水洗いしないことにした。掃除が終わって、風呂。お湯を専用バケツに移し、「松の湯」と称してかじかんの手を順番に温めてもらう。湯加減は？と聞くと「アツい」「アツい」「最高」とみんなが恍惚の声を上げる。最後に自分でも手を入れてみた。熱すぎずぬるすぎずちょうどいい湯加減。「アツい」「アツい」「アツい」と声を上げた。そういえば最近、こんな声を出したことも聞いたこともなかった。

「鈍刀を磨く」という詩から大切なことを学びました。
「鈍刀を磨く」
鈍刀をいくら磨いても
意図なことだというが
何もそんなことばに
耳を貸す必要はない
せつせと磨くのだ
刀は光らないかも知れないが
磨く本人が変わっていく
つまり刀がすまぬすまぬと
言いながら
磨く本人を光るものに
してくるのだ
そこが甚深微妙の世界だから
せつせと磨くのだ
坂村真民著「詩集 念ずれば花ひらく」より

「困難は自己を磨く砥石」という言葉を思い出しました。
今から二十年前、坂村真民さんからおハガキをいただきました。「詩縁を感じたいします。お互いしっかりと生きてゆきましょう」という言葉、ハガキの裏には「氣海丹田」と墨書されていました。この書を見るたびに丹田に氣が漲ってくるような気がしてきます。

先日、友人から「横田南嶺老師に学ぶ真民詩のころ」と題するDVDを頂き感動しました。ご希望の方にはお貸しいたします。

第二七一号は三月一日(木)発行予定です。